

平成24年5月29日

関係者 各位

学校法人 宮崎総合学院

理事長 川越宏樹

「平成23年度宮崎総合学院自己点検・評価報告書」の公表について

平成24年5月28日（月）開催の役員会において、標記の自己点検・評価の結果が報告されました。

ここに、公表いたします。

今後は、この結果を踏まえ、関係者皆様のご意見やご指導を賜りつつ、教職員一丸となって改善を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。

平成 2 3 年度  
自己点検・評価報告書



2012年 5月

学校法人 宮崎総合学院

## ま え が き

学校法人宮崎総合学院は、1986年（昭和61年）3月、宮崎市に設立しました。同年4月の「宮崎情報ビジネス専門学校」の開校に始まり、大原簿記公務員専門学校宮崎校（平成7年4月）、宮崎福祉医療カレッジ（平成11年4月）、宮崎ペットワールド専門学校（平成16年4月）、宮崎サザンビューティ美容専門学校（平成17年4月）の5つの専門学校を開校し、職業教育機関として地域社会や産業界から支持される学校運営に努めて参りました。これまで7,000名の卒業生を世に送り出し、国家社会、世界の発展にも貢献しているものと自負しております。

また、学校法人九州総合学院は、平成19年5月に長崎市所在の九州医学技術専門学校、平成21年9月に熊本市所在の九州工科自動車専門学校の2校をそれぞれ前運営法人から継承し、医療現場をサポートするエキスパートやプロの自動車整備士の育成を行ってきております。

近年、全国の専修学校を取り巻く情勢は、少子高齢化の影響等も受け、益々厳しさを増してきており、専修学校に対する社会のニーズも大きく変化しております。これらの状況を鑑み、学生に対する教育の質・内容は十分であるか、真に社会に貢献できる学生を育成できているか等々、今後における専修学校の在り方について、冷静に見つめ直す時期に来ていると考えております。

平成19年12月施行の学校教育法第42条では、専修学校・各種学校においては、「自己評価の実施と評価結果の公表」が義務化され、「学校関係者評価の実施と評価結果の公表」が努力義務化され、専修学校教育のさらなる質の向上が求められております。

以上のような観点から、当学校法人の教育内容や、学生に対する支援等の諸点について、平成23年度「自己点検・評価」を実施しました。その結果をここに報告いたします。

最後に、今回の自己点検・評価の結果を踏まえ、自らの教育活動やその他の学校運営については、関係者皆様のご意見・ご指導を賜りながら、教職員一丸となって改善を図り、教育水準の向上を図って参りたいと考えております。

今後ともなお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成24年 5月  
学校法人 宮崎総合学院  
理事長 川越 宏 樹

## 平成23年度 自己点検・評価の方法と課題

- 1 平成23年度宮崎総合学院における自己点検・評価は、平成23年9月の理事長通知「自己点検・評価の推進体制と当面の業務推進について」に基づき、「自己点検・評価推進本部」体制の下、各専門学校に「自己点検・評価委員会」を設置して、点検・評価を行うこととした。
- 2 全国専門学校経営研究会版「自己点検・評価基準」を基に、本法人に適応した「自己点検・評価チェックリスト」を策定し、これに基づき各学校の自己点検・評価委員会に自己点検を行わせ、その結果を学校別チェックリストで報告させた。  
その報告内容について、自己点検・評価推進本部員（副本部長以下4名）で学校ごとに実情聴取、点検・確認作業を行い、最終評価（Yes 又は No）とした。その過程において、不備な点等の改善について今後の方向性を協議し、次年度以降の取り組み課題とした。

### 自己点検・評価報告書（「自己点検・評価実施本部」報告）

#### 1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

##### 1) 建学の精神・教育理念

建学の精神（教育理念）については、各学校ともにそれぞれ策定されている。

しかし、教育理念の本質は、法人としての「建学の精神（教育理念）」を策定し、それらを基にした学校ごと個別の教育理念が存在することが、理想的な姿であると思われる。法人全体の統一した「建学の精神（教育理念）」を策定することが望まれる。

##### 2) 教育目的・教育目標

教育目的・目標については、各学校とも定められ、明文化されているが、その公表の有無・方法等で差異が見られた。今後は、HP、パンフ等で積極的に公表を行っていく等、その改善が望まれる。

#### 2 教育の内容（各学科の教育目標、育成人材像の達成）

##### 1) カリキュラム作成等

各学校にカリキュラム作成委員会等が設置され、複数の構成員によって、カリキュラムの作成が行われている。

業界関係者などの外部関係者の意見は、全く入れていない学校もあったが、今後は、社会のニーズ等を大いに反映させ、講義を活性化させるために、これらとの連絡調整会議等での積極的な意見の聴取等を図っていくよう改善する必要がある。

また、シラバスを講義前に学生へ提示、事前配布を行っていない学校も見受けられた。シラバス事前配布は必ず行うこととし、学生に対する教育支援サービスの充実を図っていくことが必要である。

##### 2) 教授学習プロセスの改善

学生アンケートや授業評価の結果に基づく、教員からの報告・改善計画の作成及び学校側の改善活動は、教育上必要不可欠な事柄である。今後、必ず実施するよう指導

していく必要がある。

### 3) 業界ニーズに対応した付加的教育

リメディアル（導入前、補習）教育は、今の多種多様な学生のためにも必要なものと考えられる。しかしながら、本法人における現在のカリキュラムでは時間的余裕のない学校もあり、リメディアル教育の実施方法等については、今後の検討課題である。

### 4) 教職員の資質の維持や向上

教職員の資質を維持しその向上を図るためにも、教職員に対する研修は必要不可欠である。各学校特有の研修も考えられるが、法人全体での教職員を対象にした研修（幹部、階層別等）計画・実施も必要である。（H24 実施予定）

## 3 教育の実施体制

### 1) 教育環境の整備・活用

① 図書室・図書コーナーの設置及び関連図書の設置については、法的に設置が義務付けされている学校にあっては整備されている。学校図書館法では、本法人に図書室等の設置義務はないが、学生の学習環境を整備・充実するため、本法人共通の図書室の設置について、今後、検討していくことも必要である。

② 学校内の整理や清掃に関するルール、環境エコ活動に関する規則及び実習時の安全対策に関する文書等が、作成・実行されていない学校については、早急な対応が必要である。

③ 施設・備品等の定期的な点検・管理について、エレベーターの点検は定期的に行われ、また、各学校特有の機器についても定期点検は実施されている。

備品等の管理については、備品台帳を備えていない学校が多く、備品の定義も曖昧であり、物品管理に関する規則等の整備が本法人の今後の課題である。

## 4 教育目標の達成度と教育効果

### 1) 教育目標の達成に係る取組と評価

① 学生の就職に関する目標、就職活動の記録、結果の検証・報告、実績の公表については、各学校とも適切な取り組みを行っている。

② 資格・検定・コンペに関する目標、結果の検証・報告、合格者・合格率の公表については、各学校とも概ね適切な取り組みを行っている。

③ 退学率の目標、結果の検証・報告、減少対策について、各学校とも適切な取り組みを行っており評価される。

④ 卒業生の進路・就職等の記録、公表について、各学校とも適切な取り組みを行っている。

## 5 学生支援

### 1) 学生支援体制の整備と組織的実行（入学前）

各学校等には、入学に関する問い合わせ等に対し、適切に対応できるよう学校案内パンフレットが準備され、また、学校説明会等で事前説明がなされている。

入学予定者に対する学習指導・支援等が行われていない学校が見受けられた。

各学校とも、可能な限り入学前における学習指導等、学生支援の改善に努めていく必要がある。

## 2) 学生支援体制の整備と組織的実行（在学時）

各学校とも在学時の定期的な担任面談やキャリアサポート関連の有資格者を配置し、学生相談の支援体制は整っている。なお、H24.3には心の悩みを持つ学生に対応するため、法人本部に「学生相談室」を設置、臨床心理士の専門相談員を配置して、学生相談体制の充実が図られている。

しかしながら、ハラスメント相談体制は整備されているものの、学生指導に関わる教職員に対する相談体制の採られていないところも見受けられた。また、保護者との計画的な面談等を行っていない学校もあり、これらについては改善を図っていく必要がある。

## 3) 学生支援体制の整備と組織的実行（卒業後）

同窓会等は、殆どの学校で組織化されておらず、卒業生に対する講習・研修も殆ど行われていない。設置・必要性の有無については、今後の検討課題である。

## 4) 上記以外の学生支援体制

保護者の会及び企業の会は、殆どの学校で組織化されていない。設置及び必要性の有無については、今後の検討課題である。

なお、学校情報の周知は高等学校へは行われているが、今後は、企業等への周知も、積極的に行っていくことが必要である。

# 6 社会的活動

## 1) 計画的・組織的な社会活動への取組の推進

① 社会的活動（地域活動、地域貢献、ボランティア活動等）は、全ての学校で実施されており、教育資源（施設等の開放、出張講座等）の地域社会への提供も行われている。

② 社会的活動の評価・単位認定については、殆どの学校において未実施である。単位の認定制度や通信制度を含め、今後の検討課題である。

③ 公開講座等（地域貢献）を実施していない学校が見受けられたが、社会への貢献を目指し、未実施校は実施に向けた積極的な検討を行う必要がある。

# 7 管理運営

学校の管理・運営体制に関する評価項目については、殆どの事項が確立されている。

SD（スタッフ・エンプロイメント）に関する計画・実施については、本法人で組織的に計画・実施していくべき事柄であり、今後、SD実施に向け積極的な検討を行う必要がある。

# 8 改革・改善（システムの構築）

自己点検・評価結果を受けた、全職員での共有・検証の実施・評価報告書の作成、公表については、次回以降の自己点検・評価からシステムを構築の上、計画的に実施していくことが必要である。

## 9 備品・物品（適正管理）

物品（備品、消耗品、貯蔵品等）等の在庫管理が、適切に行われるか否かは、学校種や品名によっても取扱いに相違があるが、在庫管理の必要性について、各学校での検討が必要と思われる。

## 10 管理運営（体制の確立）

法人の管理運営上、内部規程・制度及び会計的なルール等の文書化されていないものが、評価項目の各事項以外にも多々あると思われる。法人総務本部を中心とした規程等の策定・整備が喫緊の課題である。

以 上

## 自己点検・評価チェックリスト（一覧表）

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標自己点検・評価項目			シク	富 嵜	大 原	福 祉	P A L	サ ザ ン
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育人人材像等を明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。 上記において、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか。	1	【学内】教育理念等を明文化し、学生等に対して周知徹底を図っているか。 (学生便覧等)	A	Y	Y	Y	Y	Y
	2	【学内】教育理念等を明文化し、教職員に対して周知徹底を図っているか。 (学校要覧等)	B	Y	Y	Y	Y	Y
	3	【学外】教育理念等を明文化し、公表しているか。 (HP、パンフレット、募集要項等)	B	N	N	Y	Y	Y
	4	教育目的・目標、教育計画が文書化され、提示されているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y

(宮情)

1-3 学校要覧・学生便覧に明文化はしているが、H23年度まで学外向けは未公表。H24年度に向け宮情HPを中心に教育理念等を掲載予定

(大原)

1-3 大原学園のHPやパンフレットを参考に、宮崎校のHP等でも独自の教育理念を掲載予定である。  
宮崎総合学院全体の教育理念（理事長・学院長の写真入りメッセージ）を基に、各学校での教育理念を掲載する等の統一性を図る必要がある。



2 教育の内容 自己点検・評価項目			ランク	富 岡	大 原	福 祉	P A L	サ ザ ン
各学科の教育目標、育人人材像を達成させるためのカリキュラム作成等の取り組みがされているか。	1	育人人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	Y	Y	Y	Y	Y
	3	カリキュラム作成に高校生の現状、社会ニーズを反映させているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているか。またはその意見を取り入れているか。	C	N	N	N	N	N
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
	6	各科目の年間指導計画が作成されているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	7	上記の年間指導計画が各教員から提出され、管理されているか。	C	Y	Y	Y	Y	N
	8	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に提示されているか。	B	N	Y	Y	Y	N
各学科の教育目標、育人人材像を達成させるための教授学習プロセスの改善の取り組みがされているか。	9	学生によるアンケート・研究授業・授業参観等による授業評価が定期的に行われているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
	10	評価結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
	11	評価結果に基づく研修を実施しているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	12	評価結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	13	評価結果に基づく教員からの報告書、改善計画書等が作成されているか。	C	Y	Y	Y	Y	N
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	C	Y	Y	Y	Y	N
15	授業改善のための組織的な取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	C	Y	Y	Y	Y	Y	
各学科の教育目標、育人人材像を達成させるための業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか。	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を実施しているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
	17	キャリア教育を行っているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	18	ビジネス教育を行っているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取組を行っているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	20	リメディアル(導入前教育、補習)教育を行っているか。	C	N	N	Y	N	Y
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y	
各学科の教育目標、育人人材像を達成させるための教員の資質の維持や向上を図るための取組が行われているか。	23	教職員の研修計画が作成されているか。	C	N	N	Y	Y	Y
	24	専門性や指導力等の把握や評価、専門性や指導力等の維持や向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	25	専門性や指導力等の維持や向上を図るため、外部研修・研究へ派遣しているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
	26	専門性や指導力等の維持や向上を図るため、自己啓発への時間的・財政的な支援を行っているか。	C	Y	N	Y	Y	Y
	27	非常勤講師と定期的な情報の共有を図っているか。(ミーティング、報告書、教務日誌等)	B	Y	Y	Y	Y	Y

(宮情)

- 2-4 外部非常勤講師の意見は聴取しているが、メンバーに外部関係者は入れていない。今後の検討課題
- 2-8 H24年度、学生にシラバス等の提示あるいは掲示について検討する。又は、宮情HPでの掲載も検討する。
- 2-20 リメディアル教育の実施・方法等については、今後の検討課題
- 2-23 学校個別研修は検討課題、法人全体での研修は総務本部で調整中 (H24年度実施予定)

(大原)

- 2-4 メンバーに外部関係者は入れていない。今後の検討課題
- 2-20 リメディアル教育の必要性等、今後の検討課題
- 2-23 学校個別研修は検討課題、法人全体での研修は総務本部で調整中 (H24年度実施予定)
- 2-26 自己啓発についてはプロサポート時にも設定しているが、時間の確保が不可能な状況にある。

(福祉医療)

- 2-4 メンバーに外部関係者は入れていない。今後の検討課題

(PAL)

- 2-4 メンバーに外部関係者は入れていない。今後の検討課題
- 2-20 現在のカリキュラムでは、時間的な余裕がない。今後の検討課題

(サザン)

- 2-4 外部関係者は入れていない、意見の聴取もしていない。今後の検討課題
- 2-7 担任や担当毎での管理に止まっている。学校全体での管理は今後の検討課題
- 2-8 シラバスを学生には提示、前配布はしていない。今後の検討課題
- 2-13 今後の必要課題
- 2-14 今後の必要課題

3 教育の実施体制 自己点検・評価項目		ランク	富	大	福	PAL	サザン
各学科の教育目標、育成人材像を達成させるための教育環境が整備・活用されているか。	1	組織機能図があるか。	A	Y	Y	Y	Y
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	Y	Y	Y	Y
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	B	N	N	Y	Y
	4	学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。	C	N	N	Y	Y
	5	キャリアサポートを行う就職支援室、または指定された場所等があるか。	B	Y	Y	N	Y
	6	分煙・禁煙等に関する規則が文書化・掲示されているか。	B	Y	Y	Y	Y
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規則が文書化・掲示されているか。	B	Y	Y	N	Y
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	B	Y	Y	N	Y
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックが行われているか。	B	Y	Y	Y	Y
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	B	Y	Y	N	Y
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)に係る保険に加入しているか。	A	Y	Y	Y	Y
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が点検・整備・されているか。	A	Y	Y	Y	Y
	13	学校施設・備品等が定期的に点検・管理されているか。	A	N	N	Y	N

(宮情) (大原)

3-3 法人全体の図書室設置について、将来に向けた検討課題 (総務本部)

3-4 //

3-13 備品台帳での管理が必要、物品管理規程等の策定が今後の検討課題

(福祉医療)

3-5 必要性等、今後の検討課題

3-7 早急な対応が必要

3-8 //

3-10 //

(PAL)

3-13 備品台帳もなく、物品管理規程等の整備が必要、学院全体での今後の課題

(サザン)

3-13 エレベーターは点検実施。備品台帳もなく、物品管理規程等の整備が必要、学院全体での今後の課題

4 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目			ランク	富	大	福	P	A	L	サ	ザ
				冨	原	祉				ン	ン
各学科の教育目標、育成人材像への達成に係る取り組みと評価がされているか。	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	4	学生の就職結果に関して検証・報告を行ったか。	C	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	5	外部に対し就職実績を公表しているか。(パンフレット、HP等)	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	6	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	7	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	8	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告を行ったか。	C	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y
	9	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	10	退学率の目標を設定しているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	11	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	12	退学結果に関して検証・報告を行ったか。	C	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	13	退学者の減少対策を適切に行っているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	14	卒業生(同窓生)の進路・就職等の記録を行っているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	15	卒業生(同窓生)の進路・就職等を公表しているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

(福祉医療)

3-8 今後、結果に関する検証・報告の実施に向け検討する。

5 学生支援 自己点検・評価項目		ランク	富 貴	大 原	福 祉	P A L	サ ザ ン	
入学前から卒業後まで、各学科の教育目標、育成人材像達成のための学生支援体制が整備され組織的に実行されているか。(入学前)	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	Y	Y	Y	Y	
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A	Y	Y	Y	Y	
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A	Y	Y	Y	Y	
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A	Y	Y	Y	Y	
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	A	Y	Y	Y	Y	
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	A	Y	Y	Y	Y	
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか。	C	N	Y	Y	Y	N
	8	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
入学前から卒業後まで、各学科の教育目標、育成人材像達成のための学生支援体制が整備され組織的に実行されているか。(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	B	Y	Y	Y	Y	
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	C	Y	Y	Y	Y	
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	C	N	N	Y	N	N
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	C	N	N	Y	N	N
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制が取られているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	14	学生の面談・相談記録があるか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
	15	定期的に健康診断を行っているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A	Y	Y	Y	Y	Y
17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B	Y	Y	Y	Y	N	
入学前から卒業後まで、各学科の教育目標、育成人材像達成のための学生支援体制が整備され組織的に実行されているか。(卒業後)	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	C	Y	N	N	Y	N
	19	卒業生への職業紹介を行っているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C	N	Y	N	N	N
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問を行っているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
	22	学校情報を卒業生に書面(学校便り等)やHP等で周知しているか。	C	Y	Y	Y	Y	Y
上記以外の学生支援体制について	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	C	N	N	N	N	N
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	C	N	N	N	N	N
	25	学校情報を保護者に周知しているか。(HP, 学校便り等)	C	Y	Y	Y	Y	Y
	26	学校情報を高等学校等に周知しているか。(学校便り, DVD等)	C	Y	Y	Y	Y	Y
	27	学校情報を企業等に周知しているか。(学校便り, DVD等)	C	N	N	Y	Y	N

(宮情)

- 5-7 現状では難しいが、事前説明会等の開催を検討
- 5-11 H24.3 学生相談室を設置し、相談員（臨床心理士）を配置
- 5-12                   "                   (リーフレット作成)
- 5-20 個別の相談等は受けているが、組織的な講習・研修会は未実施
- 5-23 組織的な保護者会はないが、定例行事として「新入生保護者会」、「進級年次生保護者会」、「卒年次生保護者会」を開催している。
- 5-24 組織化した企業の会（就職後援会等）はない。
- 5-27 現在も一部企業には通知している。今後、学校便りの内容等を検討するとともに、就職応援センターと連携して工夫を図っていく。

(大原)

- 5-11 H24.3 学生相談室を設置し相談員を配置
- 5-12                   "                   (リーフレット作成済)
- 5-18 組織化した単独のものはない。
- 5-23、24 設置の必要性等、今後の検討課題
- 5-27 今後、就職応援センターと連携して工夫を図っていく。

(福祉医療)

- 5-18 組織化した単独のものはない。
- 5-20 組織的な講習・研修会は行っていない。
- 5-23 設置の必要性等、今後の検討課題
- 5-24                   "                   "

(PAL)

- 5-20 卒業生に対する制度の改正等に関する説明会は実施した。研修の拠点化は今後の検討課題
- 5-23 組織的なものはないが、入学時と2年時の保護者会は実施している。
- 5-24 設置の必要性、今後の検討課題

(サザン)

- 5-7 H24 年度は、事前説明会等の開催予定
- 5-11 H24.3 学生相談室を設置し相談員を配置
- 5-12                   "                   (リーフレット作成済)
- 5-17 今後の検討課題
- 5-18 組織化した単独のものはない。
- 5-20 卒業生に対する特定な講習、研修は行っていない。
- 5-23 設置の必要性、今後の検討課題
- 5-24 設置の必要性、今後の検討課題
- 5-27 企業には未配布であり、今後の検討課題

6 社会的活動 自己点検・評価項目		ランク	宮情	大原	福祉	PAL	サザン
計画的・組織的に社会活動への取組が推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	C	Y	Y	Y	Y
	2	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟しているか。	B	Y	Y	Y	Y
	3	上記の定期的な会合に参加しているか。	B	Y	Y	Y	Y
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	B	Y	Y	Y	Y
	5	社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定をしているか。	C	N	N	N	N
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	N	Y	N	Y

(宮情)

6-5 評価・単位認定は行っていない。今後の検討課題

6-6 教職員出張講座の実施等、今後の検討課題

(大原)

6-5 単位制や通信制の導入について検討の余地あり。

(福祉医療)

6-5 評価・単位認定は行っていない。今後の検討課題

6-6 教職員出張講座の実施等、今後の検討課題

(PAL)

6-5 啓発活動に止まっているが、動物介在の施設訪問が可能かどうか検討中。 単位認定は今後の検討課題

(サザン)

6-5 評価・単位認定は行っていない。今後の検討課題

6-6 未実施、今後の検討課題

7 管理運営 自己点検・評価項目		ランク	富	大	福	P	A	L	サ	ザ
学校の管理・運営体制が確立しているか。	1	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	2	組織構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	3	防災・防犯・非常時の対応策が文書化されているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	4	防災、防犯対策のための組織化が行われているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	5	定期的に防災訓練を実施しているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	6	個人情報保護規程が文書化されているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	7	ハラスメントに関する規程が文書化されているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	8	公印管理簿があるか。	B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	9	出退勤管理簿があるか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	10	文書の受信・発信簿があるか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	11	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されているか。	C	N	N	N	N	N	N	N
	12	教職員の健康診断を実施しているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

(富) (大) (福) (医療) (PAL) (サザン)

7-11 各学校では組織的な実施はしていない。今後、法人全体で計画・実施すべき検討課題



8 改革・改善 自己点検・評価項目		ランク	宮情	大原	福祉	PAL	サザン
各学科の教育目標、育人人材像達成のための自己点検・評価活動の実施体制が確立され改革・改善のためのシステムが構築されているか。	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	B	Y	Y	Y	Y
	2	自己点検・評価の組織があるか。	B	Y	Y	Y	Y
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	C	Y	Y	Y	Y
	4	自己点検・評価の必要性を全教職員に周知する機会を設けたか。	A	Y	Y	Y	N
	5	自己点検・評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	B	N	N	N	N
	6	自己点検・評価結果に基づき、期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証を行ったか。	B	N	N	N	N
	7	自己点検・評価報告書があるか。	B	N	N	N	N
	8	自己点検・評価報告書が公表されているか。	C	N	N	N	N

(宮情) (大原) (福祉医療)

8-5~8 今回の自己点検・評価の結果を基に、計画的に実施予定

(PAL)

8-6~8 今回の自己点検・評価の結果を基に、計画的に実施予定

(サザン)

8-4~8 今回の結果及び次回の自己点検・評価から、計画的に実施予定

9 備品・物品 自己点検・評価項目		ランク	富 貴	大 原	福 祉	P A L	サ ザ ン	
備品等の物品管理が適切に行われているか。	1	図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。	C	N	N	Y	Y	N
	2	物品(消耗品、貯藏品等)等の在庫管理を行っているか。	B	N	N	Y	Y	N
	3	施設設備の保守・管理を定期的に行っているか。	A	Y	Y	Y	Y	Y
	4	物品購入時における複数業者からの見積合せが行われているか。	B	Y	Y	Y	Y	Y

(宮情) (大原) (サザン)

9-1 法人全体の図書館施設整備の必要性について検討課題

9-2 各学校で在庫管理の必要性について、今後の検討課題

10 管理運営 自己点検・評価項目		ランク	本部				
法人の管理・運営体制が確立しているか。	1	理事会が定期的開催されているか。	A	Y			
	2	評議員会が定期的開催されているか。	A	Y			
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	A	N			
	4	決裁に関する規程が文書化されているか。	B	N			
	5	人事に関する規程が文書化されているか。	B	N			
	6	人事考課制度は文書化されているか。	B	Y			
	7	昇進・昇格制度は文書化されているか。	B	N			
	8	賃金制度は文書化されているか。	A	Y			
	9	採用制度は文書化されているか。	B	Y			
	10	年度予算、中期計画が策定されているか。	A	Y			
	11	予算は計画に従って妥当に執行されているか、また定期的に確認を行っているか。	B	Y			
	12	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	B	N			
	13	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等で明確化されているか。	B	Y			
	14	私立学校法における財務情報公開の体制整備は整っているか。	A	N			
	15	固定資産管理に関する規程が文書化されているか。	B	N			

(法人本部)

10-3 本来、法人として公開すべきでは？ 今後の検討課題

その他、評価項目 N の各事項については、総務本部を中心に諸規程の整備等、喫緊の課題である。